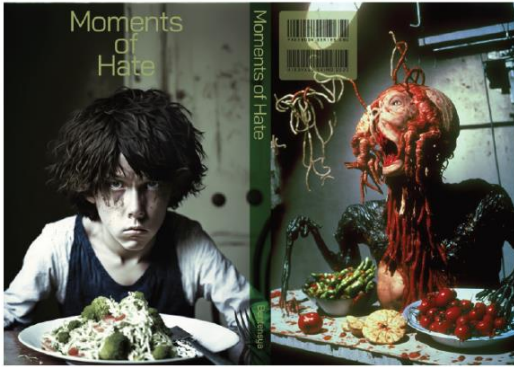
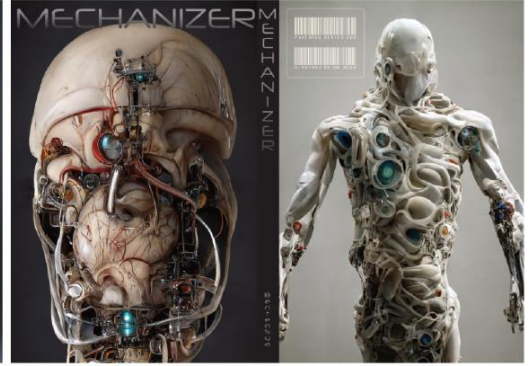


トークイベント ～みんなのひとりと～

5/3
(水・祝)

メディアアーティストと語る 未来の生き方



メディアアーティストの志茂浩和氏が表現するのは、少し未来の架空のブックフェア。それはAI技術を活用した架空の本や、メディコスに集う人々を収録した動画が並ぶ空間。志茂氏とのコミュニケーションで次第に内面を引き出される被写体たち。市民参加型メディアアートとは？ メディアアートの進化によって変わる世界とは？ 吉成プロデューサーと共に未来の姿に迫ります。

開催概要

内容
ゲストトーク&トークセッション
聞き手 吉成信夫総合プロデューサー

日時
5月3日(水・祝) 14:00~15:30

定員
先着50名(要申込、参加費無料)

会場
みんなの森 ぎふメディアコスモス
1階 かんがえるスタジオ

ゲスト 志茂 浩和 氏 (Shimo Hiroyasu)



メディアアーティスト
神戸芸術工科大学教授

東京芸大油画専攻中退後、CGクリエイターとしてゲームやアニメーション作品を制作。近年、現代美術として映像インスタレーション作品を発表してきた。2022年よりAI画像生成を取り入れた新たな試みに取り組む。日本文化の発展的継承を掲げ、現代から未来を俯瞰する視点を提供する。

お申し込みは
こちらから→



岐阜アートギャザリング2023 メディアコスモス会場 5月3日~5月14日 ※最終日は16時閉場

メディアコスモスに因み、架空の出版社「弁天舎」が開催するブックフェアを表現。SNS総再生回数が1078万回を超え、実在するかに見える映像作品「弁天様」や、AI技術を活用した「表紙だけの架空の本」Fakebookシリーズ120点などを展示する。